

日本医師会会員様向け

統一QRコード決済「JPQR」のご案内



総務省

情報流通行政局
情報流通振興課
デジタル企業行動室

はじめに

政府では2025年6月までにキャッシュレス決済比率を倍増し、4割程度とすることを目指しています。また、キャッシュレス決済は厚生労働省が推奨する「新しい生活様式」でも、感染拡大防止施策のひとつとして注目を集めています。

総務省では、全国でキャッシュレス決済の裾野を広げるため、各社のQRコードの規格を統一することで1枚のステッカーで複数の決済サービスに対応できる「JPQR」を推進しています。

QRコード決済はこれ1枚置くだけで済み、導入・維持費用が無料ですので、お手軽にご利用いただけます。現在、自治体、業界団体様等と協力して、JPQRの店舗向け説明会を開催するなど、普及活動を行っているところです。

医療機関の皆様におかれましては、ぜひJPQRを活用してキャッシュレス決済を導入することで、感染症対策、業務効率化等に役立てていただくと幸いです。

総務省

1. 統一QR「JPQR」普及事業の概要

キャッシュレス決済とは

キャッシュレス決済とは現金を使わない決済方法のことです

本資料でご説明する

JPOR は
QRコード決済です！

代表的なキャッシュレス決済

クレジットカード デビットカード



ユーザーが提示する
磁気・ICカードの情報を
接触型の専用端末で
読み取り、決済する方式

長所

- 利用者が多い
- 高額決済時でも利用可
- 付帯サービスが充実

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

電子マネー



ユーザーが提示するICカード
やスマートフォン等の情報を
非接触型の専用端末で
読み取り、決済する方式

長所

- 交通利用など利用者が多い
- 決済スピードが速い

短所

- × 導入・維持費用（端末・通信）
- × 手数料が高い（業種・規模）
- × 入金までの期間が長い

QRコード決済



店舗が提示するQRコードの
情報をユーザーがスマートフォ
ン等で読み取り、決済する
方式

※店舗提示型の場合

長所

- 維持・導入コストが不要
- 相対的に手数料が安い
- 入金までの期間が短い

短所

- × 普及段階にあるため、不慣れな
ユーザーは決済に少し時間が
かかる

QRコード決済サービス全般の特徴

JPQRを含むQRコード決済サービスは、相対的に手数料が低く入金サイクルもスピーディーで店舗にやさしい決済手段です。その手軽さから、ここ数年利用者も急速に増えています

QRコード決済のメリット

キャッシュレス決済がはじめての店舗様にとっても導入ハードルが低いのが特徴です



✓ 手数料の相場は0～3%程度
※クレジットカードは3～6%が一般的

✓ 最短翌銀行営業日に入金
※遅くとも月に1～2回程度の入金

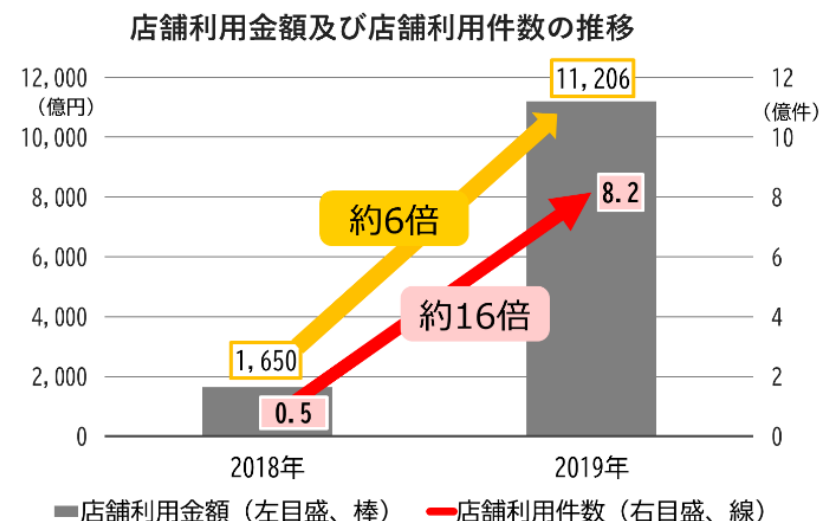


✓ カードリーダー不要のため導入費・維持費用0円

✓ 初期設定後ステッカー設置で簡単にサービス利用開始が可能に

QRコード決済の普及状況

店舗での利用件数は1年で約16倍に拡大



※2

使える店舗の増加に伴い利用者の数も増加。
現在月約1800万ユーザーが利用しこの1年で約11倍に

※1,2 (参照) キャッシュレス推進協議会：

<https://www.paymentsjapan.or.jp/publications/code-payment-trends-202006/>

※2 各社の毎年12月の月間アクティブユーザーの総計

総務省 統一QR「JPQR」とは

「JPQR」はたくさんある決済QRコードを、1枚のステッカーで読み取れるようにした統一QRコード規格です。2020年度以降、全国で説明会を開催し、普及活動を行っています

JPQRの概要



- ✓ 店頭にはこれ1枚設置でOK
- ✓ 使える決済サービスのロゴを見てお客様ご自身がスマホのアプリを起動。QRを読み取って会計
- ✓ 国内大手QRコード決済サービスはじめ、約20社の支払いに対応

参加決済サービス一覧



*1福岡銀行のみ対象 *2楽天ペイ（アプリ決済）

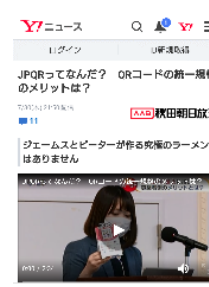
JPQR普及事業の進捗

- ✓ 2019年度は5県にて実証的に先行導入を実施

2019年度は、岩手県、長野県、和歌山県、福岡県、栃木県にて先行導入を実施。実証事業の結果、5県で約12,000店舗がJPQRを導入した

- ✓ 2020年度はWEB受付システムを整備し全国へ

2020年度は、JPQR事業WEBサイトでの申込受付を実装。300以上の自治体・商工団体・組合等の説明会実施要請があり、47都道府県にて400回弱の説明会を開催し、4,000店舗以上がJPQRを導入した



JPQRのご利用方法

本事業で対象とするJPQRはステッカー読み取り型のQRコード決済です
3ステップで簡単に決済でき、接触することなく決済できます

JPQRの決済方法

Step1.

お客様が、スマホの
決済アプリでQRコードを読取



Step2.

お客様が金額入力し
「支払」ボタンを押す



Step3.

画面を店員に見せ、
確認し、決済完了！



- お客様はご自身が使いたい〇〇Payを起動し読み取ります
- 決済の確認方法として、各決済事業者から送付される通知メールや、各社の売上管理画面を確認する方法もございます

決済方法動画はこちらから！



2. JPQRをお勧めする理由

統一QR「JPQR」の3つのおすすめポイント

JPQRは「複数のQRコード決済サービスを一括で申し込める」、「店頭に置くQRコードステッカーは1種類」、「導入費・維持費が0円」の3つが大きなメリットであり、店舗のキャッシュレス導入および幅広い決済サービス導入を大きく後押しいたします

一括申し込み



ステッカー 1 枚で複数決済に対応



導入費・維持費 0 円

¥0

ポイント①：複数のQRコード決済サービスを一括申し込み

JPQR事業WEBサイトにアクセスしお店などの情報と必要書類を登録。導入したい決済サービスを選択し、申請の手続きは1回でOK！幅広いユーザーのニーズに応えることができます

JPQRの申し込みの仕組み

今までは各社ごとの申し込み申請が必要でしたが
JPQR事業WEBサイトから一括申請での手続きを実現

- ✓ 申込フォームの入力
- ✓ 必要書類の準備・提出



- ✓ 利用したい決済サービスを好きなだけ選択し一度に申請

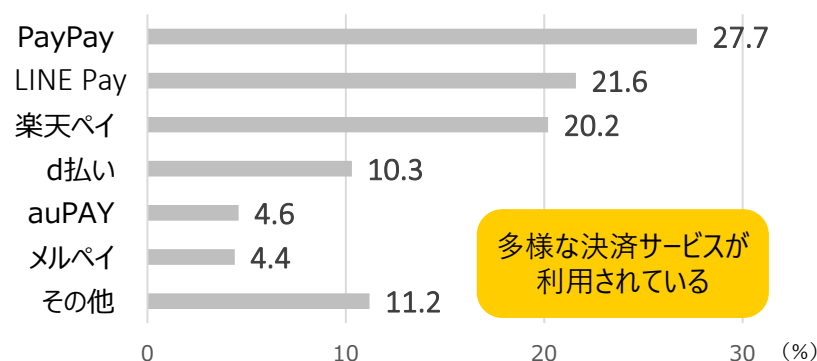


※一度登録いただければサービス追加申請も基本的に再入力不要
※すでにご契約がある方もJPQRにステッカーを統一することが可能

複数サービス導入のメリット

対応決済サービスの間口を広げることで、
幅広いお客様のニーズにお応えできます

最も利用しているQRコード決済サービス（n=4,683）



多様な決済サービスが
利用されている

(参照) MMD研究所 「2020年7月スマートフォン決済（QRコード）利用動向調査」
https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1873.html

- ✓ JPQR導入店舗からの声

お客様が複数のQR決済を
利用することが多く、スタッフ
の手間を省くことができた

特定のサービスだけでは顧客の
ニーズに対応できず不便さを
感じたため、複数サービスが利用
できるところに魅力を感じた

ポイント②：ステッカー 1 枚で複数の決済サービスに対応

会計時に店舗側が店頭でステッカーを選ぶ必要はありません。現金の受け渡しはもちろん、ステッカーをあれこれ出し入れする手間も省け、レジ周りのスペースを有効活用できます

———こんなお悩みありませんか？———

衛生面のことを考えると、会計における現金のやりとりを減らしていきたい

対応する決済サービスを増やしたいが、店頭スペースがなく、ステッカーを多数置くことができない

ステッカーが増え、どれを出したらいいのかわからなくなり正直使えていない。従業員教育もできていない



お釣りの準備、レジ締めなど現金の取り扱いが面倒

→JPQRが解決します！

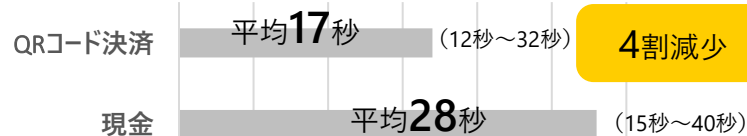
———QRコード決済活用の効果———

✓ JPQR導入店舗からの声

高齢のスタッフが多いため、とりあえず JPQR を出してあげばよいので、探す手間もなく非常に助かる

QRコードの置き場に困っていたので、レジ横がすっきりした。また、非接触決済なので衛生面が向上した

✓ 会計時間がスピーディーに ※1



(参照) 株式会社JCB『決済速度に関する実証実験結果』
<https://www.global.jcb/ja/press/00000000162855.html>

コロナ対策としても推奨

キャッシュレス決済は、厚生労働省「新しい生活様式」や東京都「事業者向け東京都感染拡大防止ガイドライン」でも感染拡大防止に向けた有効な手段として、利用を推奨されています(参照) 東京都ホームページ



<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1007942/1007968.html>

ポイント③：導入費・維持費は0円

国のキャッシュレス普及推進活動の一環のため、JPQRそのものの導入費・維持費は無料。
ご契約いただいている各QRコード決済サービスの手数料のみ、お支払いの対象となります

———利用料が発生するタイミング———



- ✓ 各QRコード決済サービスの導入費・維持費も**無料**
※カード読み取り専用の端末等も必要ありません



- ✓ JPQRの導入・維持費も**無料**
※JPQR経由での申し込みに伴う中間手数料などは発生しません



- ✓ お客様がQRコード決済サービスで支払いをして初めて**決済手数料が発生**（今なら手数料無料のキャンペーンも各社実施中）
※一部のサービスのみ振込手数料がかかる場合がございます

———JPQR導入により利用できるもの———

JPQRステッカー

POP台紙、QRコードステッカー、各決済サービス事業者のロゴシールがセットになっています



※ご契約いただいた決済サービスの販促物は別途送付されます

+

JPQR売上管理画面

JPQR対応サービスの管理画面への遷移・売上履歴をまとめて管理できる画面です



※一部サービスのみ対応が準備中となっております

3. JPQRの契約と売上管理

統一される範囲について

お申込みや決済インターフェースは統一されますが、審査や入金はいずれも各決済サービスごとに行われます。審査基準は各決済サービスにより異なります

	JPQR	< 参考 > 決済代行会社
契約関係イメージ図		
運営主体	協議会*1（普及推進は経産省・総務省）	民間企業
対応決済サービス	20社以上（QR決済:MPM静的）	サービスによる
導入申込	一括	一括
契約締結	各社（申請は一括で可能）	一括
└審査	各社	とりまとめ
└決済手数料率	各社毎（比較的安い、0%～3%程度）	一律（比較的高い、3.24%～）
└入金日・サイクル・手数料	各社毎	一括
└売上管理	各社＋一括* 2	一括
導入・維持コスト	0 円	サービスによる

*1:一般社団法人キャッシュレス推進協議会、 *2:JPQR売上管理画面にて一括管理可能

売上管理の方法について

Webで閲覧可能なJPQRの売上がまとめて閲覧できる「JPQR売上管理画面」と返金処理等のより詳細な操作が可能な「各社が提供している売上管理画面」の2つをご利用いただけます
※決済が完了すると、事前に登録しているメールアドレス宛に各決済事業者から決済通知メールが届きます

JPQR売上管理画面



SAMPLE

決済事業者	店舗	件数	金額
決済事業者A	店舗B	5	3,450
決済事業者A	店舗C	4	1,420

日付	件数	金額
2020/9/4	9	5,450
2020/9/3	14	13,210
2020/9/2	21	23,450
2020/9/1	16	11,330

各社が提供している売上管理画面

決済サービスA



決済サービスB



決済サービスC



決済サービスD



■機能

- ✓ 売上履歴や入金予定を各社まとめて確認
- ✓ CSVでのダウンロード
- ✓ 各社サービスの売上管理画面へのリンク

※一部サービスのみ対応が準備中となっております

※マニュアルはこちら[「https://jpqr.moneyforward.com/manual」](https://jpqr.moneyforward.com/manual)

■機能

- ✓ 決済確認、タイムリーな売上管理
- ✓ 返金処理
- ✓ 登録情報の変更 等

4. JPQRのお申込み手続き

申込手続きの方法

JPQRのお申込は、事業Webサイトから遷移できる「JPQR Web受付システム」にて可能です。事業Webサイトに申込手順を詳しく掲載しています。

※〇〇Payをいくつか導入済みの場合、JPQRにまとめるためには受付システムから新たに申請が必要です。

事業Webサイト

- ①事業Webサイトにアクセスし、「導入申込へ」or「店舗様向け導入申込へ」をクリック
トップページ (<https://jpqr-start.jp/>)



- ②遷移先のページ下部から「JPQR Web受付システム」をクリック

JPQR Web受付のご案内ページ



JPQR Web受付システム

- ③メールアドレス・パスワード等本登録完了後、「新規申込」をクリック!

ログイン画面

初回 登録後

トップページ

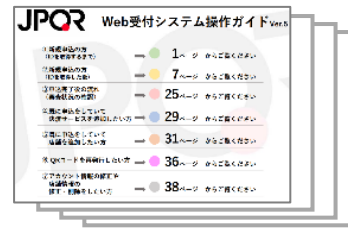


※フィッシング詐欺(JPQRを装ったメールやサイト)にご注意ください。
パスワード設定の際は他者から推測の難しい組合せを推奨します

JPQR Web受付システム 操作ガイド

お申込みの際は、申込手順を詳しく説明している「Web受付システム 操作ガイド」をご参照ください

事業Webサイトより閲覧・ダウンロードできます



申込できる決済サービス

JPQR決済対応サービスは拡大しています！

2021年4月時点の情報です、最新情報は申込ページから確認いただけます

分類	サービス名	申込可能時期	JPQR決済開始時期
国内決済サービス	atone	2020年6月22日	— (対応済み)
	au PAY	2020年6月22日	— (対応済み)
	J-Coin Pay	2020年6月22日	— (対応済み)
	d払い	2020年6月22日	— (対応済み)
	FamiPay	2020年6月22日	— (対応済み)
	メルペイ	2020年6月22日	— (対応済み)
	ゆうちょPay	2020年6月22日	— (対応済み)
	YOKA!Pay (福岡銀行のみ)	2020年6月22日	— (対応済み)
	LINE Pay	2020年6月22日	— (対応済み)
	楽天Pay(アプリ決済)	2020年6月22日	2021年春頃対応予定
	OKI Pay	2020年8月31日	— (対応済み)
	commoney	2020年8月31日	— (対応済み)
	はまPay	2020年8月31日	— (対応済み)
	PayPay	2020年8月31日	— (対応済み)
	ほくほくPay (北陸銀行・北海道銀行)	2020年8月31日	— (対応済み)
	Money Tap	2020年8月31日	— (対応済み)
	こいPay	2021年1月20日	— (対応済み)
国際決済サービス	Union Pay(銀聯)	2020年6月22日	— (対応済み)
	WeChat Pay	2020年8月31日	— (対応済み)

各サービスの手数料等のご確認方法

決済手数料や入金サイクルなどの契約条件は、JPQRWeb受付システム
新規申込ページより申込手続きのなかで確認できます

JPQRWeb受付システム「申込に関する同意・確認事項」ページ内のリンクをクリックすると、
各社手数料等が記載されている表を閲覧することができます



2 ページ後

申込に関する同意・確認事項 ※イメージ

申込に関する同意および反社会的勢力でないことの表明・確約

以下をよくお読みの上、同意する場合、チェックしてください。なお、同意いただけない場合、お申し込みできません。

☐ 当社（または当店）は、下記の「申込に関する同意事項および各決済事業者規約・契約条件等」に記載の各決済事業者が定める規約・条件に同意の上、JPQRWeb受付システムに申し込みます。

申込に関する同意事項および各決済事業者規約・契約条件等

☐ 当社/私は、反社会的勢力でないことを表明・確約します。（反社会的勢力に該当する場合にはご利用いただけません） チェックを入れてください。

確認事項

以下の項目のうち、該当するものをチェックしてください。

☐ あなたの事業は特定商取引法上の特定商取引です。

☐ 訪問販売を行う

☐ 特定継続的役務提供を行う

☐ 電話勧誘販売を行う

☐ 連鎖販売を行う

☐ 事業提供誘引販売を行う

☐ 前払い式取引の形態で行う

☐ 直近5年間に特定商取引法上の特定商取引です。

※下記いずれかに該当する場合は、必ず「特定商取引法上の特定商取引」にチェックしてください。

☐ フランチャイジー店舗が複数ある（※フランチャイジー（加盟店）の数が10店舗以上）

☐ 親会社または子会社が複数ある（※親会社または子会社の数が10社以上）

●各決済事業者の契約条件

加盟店手数料率等	入金サイクル	入金手数料
au Pay		
銀行Pay（ゆうちょPay・YOKAI Pay）		
J-Coin Pay		
d払い		
メルペイ		
LINE Pay		
ファミペイ		
銀聯		
●各サービス規約		
参照		
au Pay		

各社手数料、入金サイクル
※各決済サービスにより異なります。
申込時にご確認ください。

<ご参考> 各サービスの手数料等のご確認方法

決済手数料やJPQR対応時期などは、事業WEBサイトより簡易的に確認いただけます

決済サービス	JPQR（店舗提示型）対応（※1）	PLUG 参加予定時期	加盟店手数料率等（JPQRのWEB受付システムから申し込む場合）（※3）
atone	対応済み	参加済み	2.4%（非課税）
WeChat Pay	対応済み	参加済み	1.2%（非課税）（2021年3月31日まで） 1.5%（非課税）（2021年4月以降）（※2）
au PAY	対応済み	参加済み	無料（2021年7月31日まで） 3.25%（税別）予定（2021年8月以降）
OKI Pay	対応済み	参加済み	1.5%（税別）～1.8%（税別）（※2）
UnionPay（銀聯）	対応済み	参加済み	1.85%（非課税）（※2）
こいPay	対応済み	参加済み	WEB受付システム内手数料一覧参照（※2）
Commoney	対応済み	参加済み	3.25%（税別）
J-Coin Pay	対応済み	参加済み	1.85%（非課税）（※2）
d払い	対応済み	参加済み	2.585%（税込）（2020年7月31日まで） 1.80%（税込）（2020年8月1日～2021年6月30日まで） 2.86%（税込）（2021年7月以降）
はまPay	対応済み	参加済み	2.0%（税別）（※2）
FamiPay	対応済み	参加済み	無料（2021年3月31日まで） 2.94%（税別）（2021年4月以降）（※2）

決済サービス	JPQR（店舗提示型）対応（※1）	PLUG 参加予定時期	加盟店手数料率等（JPQRのWEB受付システムから申し込む場合）（※3）
PayPay	対応済み	参加済み	1.99%（税込）（2021年3月31日まで） 2.59%（税込）（2021年4月1日～9月30日） 3.24%（税込）（2021年10月以降）（※2）（※4）
ほくほく Pay（北陸銀行・北海道銀行）	対応済み	参加済み	WEB受付システム内手数料一覧参照（※2）
Money Tap	対応済み	参加済み	1.5%（非課税）（※2）
メルペイ	対応済み	参加済み	0%（2021年6月末まで） 2.6%（税別）（2021年7月以降）
ゆうちょ Pay	対応済み	参加済み	WEB受付システム内手数料一覧参照（※2）
YOKAI Pay（福岡銀行のみ対象）	対応済み	参加済み	WEB受付システム内手数料一覧参照（※2）
LINE Pay	対応済み	参加済み	無料（2021年7月31日まで） 2.45%（税別）予定（2021年8月以降）
楽天ペイ（アプリ決済）	2021年春頃対応予定	参加済み	3.24%～（※5）

2021年4月7日時点
出所：事業Webサイト(<https://jpqr-start.jp/>)より

JPQR導入までの流れ

JPQR事業WEBサイトにアクセスし、必要情報の入力・書類のアップロードをいただいた後、各社にて審査が行われます。審査完了後、初期設定をしていただき利用開始となります

JPQRWeb受付システム での申込手続き

- ✓ 必要情報の入力
- ✓ 審査書類のアップロード



店舗審査開始

完了

通常3週間～4週間程度

※決済サービスや申請者の属性等によって
審査期間が異なる場合があります

各決済サービス審査

- ✓ もし書類不備があれば
JPQRWeb受付システムより、店舗へメールで
ご連絡



初期設定対応

- ✓ 各社審査完了メールに従い
管理画面の登録を実施

審査完了した
決済サービス各社
から順次メール送付



メールに従いID、
パスワード等設定



ステッカーの設置

- ✓ 審査完了通知があった
決済サービスのロゴシール
をPOPに貼付



JPQR 利用開始！

お問い合わせ

- ✓ JPQR専用コール
センターにて対応
- ✓ 各決済サービスの
窓口も適宜ご利用
ください



スターターキットの郵送

- ✓ ステッカー(6枚)、ロゴシールなど
- ✓ 各社マニュアル、販促物など



決済サービスの追加

- ✓ JPQR Web受付システムより決済サービスの追加
が可能です。なお、配布したJPQRステッカーはそ
のままお使いいただけますので、審査通過すれば
ロゴシールを追加してください

※すでに〇〇Payをいくつか導入済みである場合にも、JPQR登録が完了したら審査結果のメール通知があります

5. 導入店舗の声

< JPQR導入店舗の声 >

店頭がすっきり！様々な業種の店舗がJPQRを導入しています

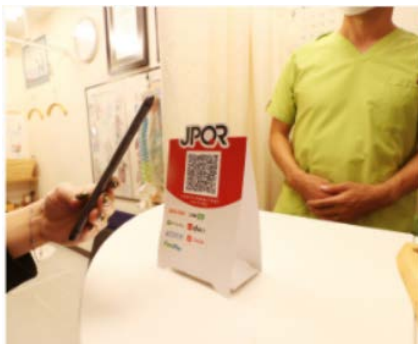
case.1：カイロプラクティック

ひとりで営業しているので、
手間の少ないJPQRはとても楽で助かります。

以前からキャッシュレス決済は導入していて、QRコード決済も導入を検討していました。複数のQRコードがひとつにまとめられると新聞で知り、これは大きなメリットだと思ってJPQRに申し込みました。お店の面積も限られていますから、受付に台紙をひとつ置くだけでいいのは嬉しいですね。他の決済方法だと、決済のたびに専用機器を立ち上げなければいけないものもあります。受付から診断、施術までひとりで行っていますから、お客様がQRを読み取るJPQRは手間や時間がかからず気持ち的にも楽で、助かっています。

JPQR導入の決め手

- 複数のQRコードがひとつにまとまる！
- QRをお客さんが読み取るスタイルだから、店舗側の手間が少なくて接客に余裕！



case.2：飲食店

場所をとらずに、レジ周りがスッキリ。
オペレーションも簡単です。

キャッシュレスに対する世の中の関心が高まっているのを受けて、数年前からQRコード決済を導入しました。JPQRの導入は昨年（2019年）からです。複数の決済サービスに対応するとなると、以前はQRコードをいくつも並べなくてははいけませんでした。台紙ひとつ置いておけばよいのは、JPQRの大きなメリットですね。お客様もキャッシュレス決済には慣れてきているので、JPQRの使い方も感覚でわかってもらえています。お店には若い外国人スタッフが多いですが、彼らも操作に迷うことなくオペレーションも簡単で、とても喜んでます。

JPQR導入の決め手

- 台紙がひとつで場所をとらない！
- 店舗スタッフのオペレーション教育も簡単！



< JPQR導入店舗の声 >

現金の手間を削減！様々な業種の店舗がJPQRを導入しています

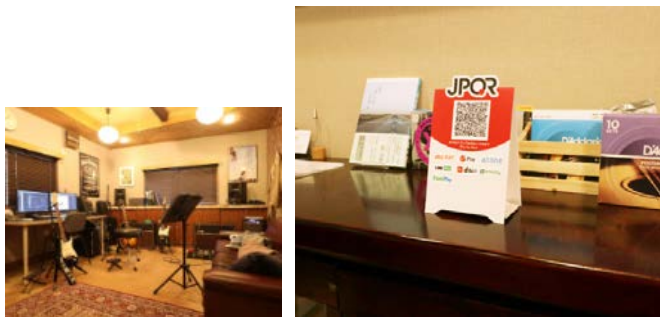
case.3：音楽教室

QRコードがひとつになり、省スペースで、見た目もよく、お客様にもわかりやすい。

最近では現金を持たない方も増えてきているため、受講生の方のニーズに応えるためにここ数年、幅広い支払い方法を導入してきました。QRコード決済の場合、決済サービスを増やすごとに設置する台紙が増えてしまうため、どのように簡素化するかが課題でした。そんな折にJPQRを知り、QRコードがひとつにまとまることをメリットに感じ導入を決めました。どの手段で支払いが可能であるか、お客様にも提示しやすくなっているので、非常に便利だと思います。お釣りを用意する手間が減ったのも嬉しいですね。

JPQR導入の決め手

- 1枚で、どのサービスが使えるかがわかりやすい！
- お釣り（現金）を用意する手間が減った！



case.4：タクシー

お客様の取りこぼし防止には、JPQRのようなサービスの導入が不可欠でした。

よくあるのが「カード使える？」というお客様の質問。もしも「使えません」と答えれば、その人は別のタクシーを探し始めます。タクシーにとって、どんな決済方法にも対応できるようにすることは、見込み客を取りこぼさないための常なる課題です。将来的には、キャッシュレス決済がどんどん普及するはずですから、対象サービスが豊富なJPQRのようなサービスは待ち望んでいて、発表後すぐに申込みました。お釣りもないので会計時にバタバタせず、機器の準備も要らないので、使い勝手は非常にいいですね。

JPQR導入の決め手

- 対応しているQRコード決済サービスが多く、幅広いお客様のニーズに対応！
- お釣りも機器も不要で支払いが簡潔！



<JPQR導入店舗の声>

導入費・固定費0円！様々な業種の店舗がJPQRを導入しています

case.5：弁当販売店

QR導入費・固定費0円と機器が不要であることは、複数店運営の大きなメリット。

屋台DELiは、オフィスビルの飲食フロアなどで、複数ブランドのお弁当を販売するお店です。さまざまな場所に出店している我々のような企業にとって、**導入費・固定費がかからないことは、JPQRの大きなメリット**だと思います。**機器が要らないので電源も不要、壊れない**というのも魅力ですね。現金を直接受け渡ししなくて済み、釣り銭の用意も以前より少なく、**食品を扱う業態のため衛生的にもお客様に喜ばれています**。店舗あたりの販売数も多く、店舗数も多いので、**売上管理画面も活用し、業務効率化につなげています**。

JPQR導入の決め手

- 導入費・固定費が0円！
- 機器・電源が不要で壊れない！
- 現金受け渡し不要で衛生的！



case.6：地方自治体

市民の方が自由に決済方法を選べることが、利便性向上に繋がります。

自治体においても、キャッシュレス決済の導入・拡充が課題となっています。田原支所（大阪府四條畷市）では以前、別のキャッシュレス決済を利用しており、非常に好評をいただいております。より**多様な決済サービスを小さなスペースで導入できる**と知り、今回JPQRの導入を決めました。以前は、タブレット端末のカメラで市民の方のスマホを読み取っていましたが、**JPQRはご自身のスマホで完結**するので、よりスムーズな支払い処理が可能になりました。**決済方法を市民の方が自由に選べる**ことも、利便性向上の点でとても重要だと考えます。

JPQR導入の決め手

- 複数の決済サービスを小さなスペースで導入！
- スマホで完結、支払い処理がスムーズに！



ご検討いただき、ありがとうございます

JPQR をはじめよう

- JPQR普及事業コールセンター：
0120-206-100（土日祝日を除き9:00～18:00）
※JPQR事業全般に関するご不明点・お申込み方法についてご対応いたします
- 事業 WEBサイト：<https://jpqr-start.jp/>

